

新聞記事より



相談センターで心のケア

偏見排除や負担減探る

不妊の悩み

「とにかく（治療の）回数をこなすしかなかった。痛みはある、周りでどんどん子供ができる。いつ自分ができるかわからない」という不安の中で、精神的にも元気を失った。大分市の女性会員は、「打ち明けられた（妊娠四週）」を設置する考え方

足もと

展望・2001年度県予算から



②

不妊に悩む一人の男の子を出産する医療費約4年半かけた。人工授精一回の費用や電話相談など、不妊の体外受精。それまでに流産三回。子宮外妊娠も経験した。子供が欲しくて諦めない「不妊」に悩むのは、十組

ある。周囲でどんどん子供ができる。いつ自分ができるかわからない」という不安の中で、精神的にも元気を失った。大分市の女性会員は、「打ち明けられた（妊娠四週）」を設置する考え方

（このこころの悩み）総合的に扱う組合員がいる。十八都道府県がつくる。全国ではすでに県健康対策課はこれまで対策の一環として、大分市、県立病院内に「不妊専門相談センター」を設置する考

えだ。不妊治療じごんの費用が各々異なるのがいい。でも、不妊の苦手を表に出す

たところは、夫婦で参加する姿があらわだ。根が深く、細かい問題だけに、夫婦対策に実施されないなど、逆に（相談）して調査によるセーターの相談員が傷つけてしまふ恐れもある。指

など引け

た際は、各々回答のいい方の回数は新年度から、少子化に対する一環として、大分市、県立病院内に「不妊専門相談センター」を設置する考

えだ。

不妊に悩む一人の男の子を出産する医療費約4年半かけた。人工授精一回の費用や電話相談など、不妊の体外受精。それまでに流産三回。子宮外妊娠も経験した。子供が欲しくて諦めない「不妊」に悩むのは、十組

ある。周囲でどんどん子供ができる。いつ自分ができるかわからない」という不安の中で、精神的にも元気を失った。大分市の女性会員は、「打ち明けられた（妊娠四週）」を設置する考え方

（このこころの悩み）総合的に

扱う組合員がいる。十八都道府県がつくる。

全国ではすでに県健康対策課は

これまで

たところは、夫婦で参加する姿

があらわだ。根が

深い

問題だけに、夫婦対策に実施されないなど、逆に（相談）して調査によるセーターの相談員が傷つけてしまふ恐れもある。指

など引け

た際は、各々回答のいい方の回

2001年3月1日
朝日新聞

不妊のつらさ乗り越え前進

大分市の産婦人科が講座

「卒業生」も助言 「卒業生」も説明



卒業式にかかる講座

トピックス

土曜の午後、大分市の産婦人科の院長田中一郎が、不妊の悩みを抱く夫婦たちに向けた講座を開いた。午後二時から三時半までの間、田中院長は、不妊の原因や治療法について、夫婦の立場で丁寧に解説した。午後四時頃には、講座終了後、田中院長は、夫婦たちに質問を受けた。午後五時頃には、講座終了後、田中院長は、夫婦たちに質問を受けた。

午後二時から三時半までの間、田中院長は、不妊の原因や治療法について、夫婦の立場で丁寧に解説した。午後四時頃には、講座終了後、田中院長は、夫婦たちに質問を受けた。午後五時頃には、講座終了後、田中院長は、夫婦たちに質問を受けた。

セント・ルカに送る文集
クローバー
～治療中の方へのメッセージ～

2002年6月8日

不妊治療者の心の支えに

つらい思い出や今の幸せ

アドバイスつづる

元患者がつづった文集の表紙
の目見た間違流すアラス考證で
り衝撃的(6年経てのことであつて氣
するがほんにないもの)と云ふは
と云ひて、熟練する(仕事の両立)
う悪し現を手にする(体を薬
美があつて、しおらぬをアドバイス
る。)これが
一方では、婦人科の外来待合室で見
るところができる。

大分市セント・
ル力産婦人科

元患者が体験文集

ができないということでも親族一同大喜びで、子供が潤滑油になり、主人の筋肉を潤す、いや、自分

2002年7月11日
大分合同新聞

不妊治療を専門にして、などの専門知識と本格的治療技術をもつて、不妊治療施設のない所を併設して、不妊婦婦人科（医学論著室）を構成している。

院長が今年、開院十周年記念式典で、宇津宮院長は墨頭言によると、自費診療部分が多い冊子「赤ちゃん今すぐ」を発行した。その夢みで、十年間は半百回くらぎの負担が大きい不妊治療を専門としているので、このほど「開院十周年記念式典」として、年記念式典（A4判）をこよなく開けたところ、意外な反響が定まっている。課題として、不妊症の原因と治療法の検査、原因と治療法の検査

年六月の開院以来十二年とめている。間で全体の妊娠数が三千百二十例に達し、うち・品川クリニックホステル・病院外受精など生殖補助医療第一回日本受精床の発表・千例による妊娠が千例を超えた。会の公開講座「不育症治療演説」による三百十三例になった。この報告をしている。

他に心理専門相談室は宇津宮院長と釣宮院長とのそれぞれの部門のスタッフが「この一年を振り返つて」を執筆・学会発表する。

2003年9月1日



る。赤ちゃんがほし
いと思い、周囲の言
葉に傷つきながら
も、専門病院受診を
ためらうケースが少
なくない。
もうしたカップル

不妊症の解決 法など簡潔に

冊子を発行

大分市のメディテック
・ルカが冊子「赤ちゃん
がやってくる」はやく氣
づいて! 不妊症』を発行
しました。不妊症

治療を専門にしている同
市、セント・ルカ産婦人
科の宇津宮隆史院長が監
修している。

治療実績や患者
への対応の仕方などを
考慮した自主基準に基づ
いて審査した。不妊治療
施設認定は初めて。不
妊に悩む患者が、質の高
い医療機関と

発表した。治療実績や患
者への対応の仕方などを
考慮した自主基準に基づ
いて審査した。不妊治療
施設認定は初めて。不
妊に悩む患者が、質の高
い医療機関と

不妊治療10施設 「質高い」と認定

医師団体

人工授精や体外受精など
を実施する医師で組織
する民間団体が、質の高
い不妊治療の医療機関と
して十施設を認定したと
発表した。治療実績や患
者への対応の仕方などを
考慮した自主基準に基づ
いて審査した。不妊治療
施設認定は初めて。不
妊に悩む患者が、質の高
い医療機関を選び際の参

国の大分県一力所で、
数の三分の一を占める。
認定した医療機関は北
海道一力所、宮城県一力
所、東京都二力所、大阪
府一力所、広島県一力所、
鳥取県一力所、福岡県二
市、セント・ルカ産婦人
科の宇津宮隆史院長が監
修している。

十組に一組は不妊カッ
フルといわれている。男
性に原因がある」ともあ
る。前書きで「不妊症の治療
は早いほど良い。結婚し
て二年たつて赤ちゃんが
できないと云はば不妊症を
考へてください」と書か
れている。

二〇〇五年四月一日

2005年4月18日
大分合同新聞



不妊治療レベル 患者の満足度

JISARTの審査に 合格

日本生殖援助医療標準化機構

体外受精などの不妊治
療を手掛ける国内の
医療機関、「日本生
殖水準やクライバシー保
護など」の会員の医
療施設を審査した。不妊
治療の質向上させると
ともに、患者の満足度を
高めたために、国内では
初めて試みた。県内の
施設では、セント・ルカ
産婦人科(大分市、宇津
宮隆史院長)が審査を受
け、合格した。

JISARTは、国際
標準化機構(ISO)規
格の考え方を取り入れた
治療の品質管理を目指す
民間十四病院の医師によ
つて、二〇〇三年に設立
された。不妊治療施設
が国内で四百七十箇所いた
め、施設別に症例数
が少なく、医療水準には
らつきがある。明確な基
準や指標がない、な
どが設立の理由といつ。

今回、審査を受けたのは
は十一施設で、十施設が
合格した。審査基準とな
る指針は昨年四月、オ
ストラリア不妊学会の生
殖技術認定委員会(RTC
AC)の指針を参考に作
成した。

審査の特徴は、医師や
看護師、技術者のほか、
患者団体の代表も加わ
り、審査を行った施設の
患者からも意見を聞いて評
価に反映させていく点。
今回は、不妊患者団体 F
ederation of日本生殖医
院(FJISART)の松本裕子代
表らが、利用者の立場か
ら安全性や快適性、精神
面のケア、情報開示態勢
などをチェックした。

セント・ルカ産婦人科
の宇津宮院長は、患者代
表も参加し厳しい審査
に合格した。

当院の不妊治療のレベル、患者満足度
が一定以上と評価され
た」と話していた。

2005年6月8日
日経新聞

2005年7月4日
大分合同新聞

26日に「生殖医療心理 カウンセリング学会」



宇津宮院長

識や心なし言葉によつて傷は、宇津宮院長がコーディー
ミニに加え、周囲の誤った認・心理上の立場から「」で
く、診療では「心の問題」ルカ産婦人科の上野桂子さ
く、対応する力が少しづつ増えてきた。私が心理士の立場
から発言

第三回生殖医療心理カウントセミナー学会・学術集会 学術集会ではこうした心理が二十六日、東京・日本都サポートを話し合い、学習市センターホテルで開かれ、していくとするもので、する。ほんとにセント・ルカ市大分市、セント・ルカ産婦人科は、四題のボスター展示発表を行。産婦人科は昨年から生殖心理学会は、昨年から生殖心理が大会長を務める。イネーティングからカウンターが誕生する。この中には不妊症の患者は不妊の悩セーリングへ、医師・看護師野さんが含まれている。

宇津宮院長が大会長に

2006年3月20日
大分合同新聞

最先端生殖医療 セミナーで紹介

セント・ルカ産婦人科

受精・胎盤移植による不妊治療に同装置を応用して妊娠率を上回させた可能性について話した。
ミオ・ファーティリティ・クリニック（鳥取県）の見屋保幸理事長は、独自の装置でヒト初期胚の発生過程を連続して撮影し、受精卵が奇数の所産を経て良好とされる偶数個になることがあることを観察した。この結果を踏まえ、連続しない静止画

A black and white photograph showing a large group of people seated in rows, facing towards the left of the frame. They appear to be in a lecture hall or conference room setting. The individuals are dressed in various styles of clothing, including jackets, shirts, and ties. The lighting is somewhat dim, and the overall atmosphere suggests a formal or educational event.

2006年9月4日
大分合同新聞

未受精卵凍結保存「A-PART」宇津宮支部長に聞く

THE JOURNAL OF CLIMATE

2007年2月5日
大公報新聞

道本邦でセミナーがあり、た。
最先端の生殖医療について
て研究者が講演した。ほかに、高度生殖医療技術研究所（群馬県）の
胚の呼吸活性度を電気化
学的に計測して品質を評
価する「受精卵呼吸測定
装置」を開発した東北大
学進先工医学研究機構のは「生殖医療の倫理」の
阿部宗之助教授は、体外
テーマで講演した。

未婚の人を対象に

みんなの健康

私が専門のドクターや、
医療機関で、多くは
若いが患者さんのお